

令和7年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

仁方中学校区 校番1 学校名 仁方中学校

a 学校教育目標	自ら学び、心豊かな生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 学校や郷土を誇りに思い、生涯にわたり生き抜く力や社会に貢献できる力を身に付けた生徒の育成 〈ビジョン〉(将来の学校像) ・生きる力(知・徳・体)を育成する学校 ・安全・安心な風土の高い学校 ・保護者・地域と協働し、信頼される学校
----------	----------------	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	「考える授業づくり」「自己表現活動の充実」「自律的縦割り集団活動の充実」について取組を継続するとともに、昨年度は「身近な生活場面と関連付けた課題設定による授業改善」「週末課題・キュビナ・読書活動等を活かした基礎学力の向上」に力を入れてきた。今年度は、「生活をよりよくするため」という視点を重視した「考える授業づくり」と、N中メソッドを核とした「学びの風土づくり」「安心・安全な風土づくり」を目指す。
------------------------------	---

育成を目指す資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	規範意識・公德心
-------------	-------	-------------	---------	----------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	9月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 自己実現	① ○主体的に学び、思考力・判断力・表現力を育てる。	① 生活をよりよくするために、自分の考えを深め、表現する授業づくり	○身近な生活と関連付けた課題設定※②	○生活と関連付けた授業を行うことで、生徒の思考力・判断力・表現力が身に付いたと思う教職員の割合	90%						
				○授業で学んだことを、自分の生活と結びつけて考えようとしている生徒の割合	95%						
			○自己表現活動の充実※②	○根拠・理由をつけて、自分の考えや思いを相手に分かりやすく表現している生徒の割合	85%						
				○各教科等において生徒の表現活動を実践している教職員の割合	100%						
		① 基礎学力の定着と向上	○週課題の計画的な実施	○週課題を必ず提出している生徒の割合	80%						
			○読書活動の計画的な実施	○月1冊、本を読んでいる生徒の割合	90%						
				○本を読んで、自分の生き方や社会との関わり方について考えたことがある生徒の割合	85%						
			○キュビナの効果的な活用	○タブレット端末を活用するのは勉強に役立つと考える生徒の割合	96%						
				○授業でタブレット端末を活用することができる教職員の割合	100%						
** 豊かな心	○自らを律し、他人を思いやる豊かな心を育む。	自己肯定感・集団適応感の向上	○自律的縦割り集団活動・生徒会活動の充実	○縦割り活動で達成感を感じている生徒の割合	90%						
				○自分には良いところがあると感じる生徒の割合	90%						
				○学校楽しい〜と6【学習集団における適応力】の肯定的評価の割合	85%						
			○生徒が主体的に取り組む防災学習の推進※①	○地域の災害や避難について理解している生徒の割合	100%						
		① 規範意識の向上と豊かな心の育成	○N中メソッドの定着(時・場・礼)	○N中メソッドを達成できていると生徒の割合	90%						
			○ボランティア活動の充実(地域貢献)	○ボランティア活動に積極的に取り組んでいる生徒の割合	80%						
			○NSRを核にした生徒の居場所づくり	○学校に自分の居場所があると感じる生徒の割合	90%						
			○計画的な教育相談の推進	○生徒や保護者の相談や悩みについて適切に応じている保護者の割合	90%						
		心身の健やかな発育	○授業や部活動における体力づくり	○課題項目の中で全国平均以上の割合	50%						
★ 業務改善	○教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整備する。	組織的な業務改善の推進	○個に応じた支援や個の可能性を伸ばす活動の充実※③	○学校に行くのはたのしいと思う生徒の割合	90%						
			○受援力(互いに頼ることができる力)の育成	○相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができていない生徒の割合	90%						
			○計画的な授業確保と行事の見直し	○時間外勤務が月45時間未満の教職員の割合	100%						
			○会議の精選と効率化	○生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合	80%						
			○業務の平準化								
			○目的とゴールイメージを明確にした取組の充実	○日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合	90%						

【k: 評価】 A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100 C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60

※①防災教育の深化 ※②授業改善の推進 ※③個を大切にしたい支援の充実 ※④いじめ撲滅